

建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト
試行技術の評価結果(技術 I)

技術 I : AI、IoTを始めとした新技術等を活用して土木又は建築工事における施工の労働生産性の向上を図る技術

No	コンソーシアム	試行工事	総合評価
1	株式会社堀口組 北海道大学大学院情報科学研究院情報理工学部門 株式会社環境風土テクノ 株式会社建設IoT研究所 一般社団法人北海道産学官研究フォーラム 北海道大学大学院情報科学研究院システム情報科学部門	深川留萌自動車道 留萌市 留萌道路維持除雪外一連工事	A
2	大成建設株式会社 株式会社ジオファイブ 株式会社日本地下探査 東京大学	南摩ダム本体建設工事	A
3	金杉建設株式会社 株式会社アクティブ・ソリューション 株式会社創和	R4三郷・吉川河川維持工事	C
4	沼田土建株式会社 日本マルチメディア・イクイップメント株式会社 立命館大学	R2国道144号孀恋権限代行改良他工事	B
5	鹿島建設株式会社 AI inside株式会社	大河津分水路新第二床固改築1期工事	B
6	株式会社ソミックマネージメントホールディングス 株式会社林工組 株式会社ジイケイ京都 きづきアーキテクト株式会社 株式会社ソミックトランスフォーメーション	令和2年度 浜松市立西部中学校校舎改築工事(建築工事)	C

建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト
試行技術の評価結果(技術 I)

技術 I : AI、IoTを始めとした新技術等を活用して土木又は建築工事における施工の労働生産性の向上を図る技術

No	コンソーシアム	試行工事	総合評価
7	株式会社大林組 KDDIスマートドローン株式会社	川上ダム本体建設工事	A
8	大成建設株式会社 成和コンサルタント株式会社 横浜国立大学 一般社団法人日本建設業連合会 パナソニックアドバンステクノロジー株式会社 ソイルアンドロックエンジニアリング株式会社 KYB株式会社 極東開発工業株式会社 エム・エス・ティー株式会社	大和御所道路榎原高田ICランプ橋(AP26他)下部工事	B
9	前田道路株式会社 株式会社日立ソリューションズ・テクノロジー	令和2年度 中国自動車道(特定更新等)千代田高速道路事務所管内舗装補修工事	B
10	株式会社加藤組 株式会社EARTH BRAIN コマツカスタマーサポート株式会社 西尾レントオール株式会社 関西大学	令和3年度鍵掛峠道路第7橋下部工事	A
11	株式会社フジタ 株式会社センシンロボティクス	令和元-4年度 横断道羽ノ浦トンネル工事	A
12	西松建設株式会社 ジオマシンエンジニアリング株式会社 株式会社sMedio MODE, Inc.	令和2-5年度 窪川佐賀道路不破原トンネル工事	A

建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト
 試行技術の評価結果(技術 I)

技術 I : AI、IoTを始めとした新技術等を活用して土木又は建築工事における施工の労働生産性の向上を図る技術

No	コンソーシアム	試行工事	総合評価
13	株式会社NIPPO 住友建機株式会社 株式会社Momo	令和3年度 九州自動車道(特定更新等) 熊本高速道路事務所管内舗装補修工事	A
14	清水建設株式会社 株式会社 Lightblue Technology 株式会社演算工房	熊本57号 滝室坂トンネル西新設(二期)工事	B
15	五洋建設株式会社 大阪大学 株式会社ショージ NSW株式会社 株式会社ネクストスケープ	熊本57号笹原トンネル新設工事	A
			A

【凡例】

- A: 試行は十分な成果があり、技術の導入効果や社会実装の実現性について高く評価できる
- B: 試行は一定の成果があり、技術の社会実装に向け今後の技術開発が期待される
- C: 試行は一定の成果があるが、技術の社会実装には更なる技術開発や課題解決が必要
- D: 試行に成果があったとは言い難い(該当無し)

建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト
試行技術の評価結果(技術Ⅱ)

技術Ⅱ:データを活用して土木工事における品質管理の高度化等を図る技術

No	コンソーシアム	試行工事	総合評価
1	大成ロテック株式会社 東京大学 株式会社エム・ソフト	R3国道6号住吉町電線共同溝工事	A
2	清水建設株式会社 株式会社AMDlab 株式会社三菱総合研究所	令和2年度 設楽ダム瀬戸設楽線トンネル工事	A
3	株式会社大林組 株式会社日南 東京大学	すさみ串本道路高富トンネル他工事	A
4	株式会社大林組 前田建設工業株式会社 フジミコンサルタント株式会社	令和3年度玉島笠岡道路干瓜川橋下部他工事	A
5	株式会社愛亀 株式会社環境風土テクノ 株式会社建設IoT研究所 宮城大学 北海道大学	令和3-4年度松二維持工事	A
6	株式会社西海建設 株式会社エル・エス・アイ 長崎大学 太洋技研株式会社	①長崎497号松浦3号跨道橋下部工外工事 ②主要地方道長崎南環状線道路改良工事(4号橋下部工P1・5号橋下部工P1)	C

建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト
試行技術の評価結果(技術Ⅱ)

技術Ⅱ:データを活用して土木工事における品質管理の高度化等を図る技術

No	コンソーシアム	試行工事	総合評価
7	五洋建設株式会社 大阪大学 株式会社ネクストスケープ	熊本57号笹原トンネル新設工事	B

【凡例】

- A: 試行は十分な成果があり、技術の導入効果や社会実装の実現性について高く評価できる
- B: 試行は一定の成果があり、技術の社会実装に向け今後の技術開発が期待される
- C: 試行は一定の成果があるが、技術の社会実装には更なる技術開発や課題解決が必要
- D: 試行に成果があったとは言い難い(該当無し)